

ニコニコ資金報告

前日までの累計 **523,000円**  
 本日の計(30件) **37,000円**  
 本日までの累計 **560,000円**

①津山様・高樹様卓話

ロータリーでプロの歌手は初めてです。今日はプロの歌を楽しみましょう。10月のチケット、森さん、小倉さんありがとう。小倉利夫会員外部卓話楽しみです。出沖幸雄会員卓話楽しみに来ました。よろしくお願ひ致します。渡辺茂子会員

津山様、高樹様卓話楽しみにしております。永村俊朗会員

同様の趣旨で増田泰久会員、小倉克徳会員、渡邊圭介会員、飯淵祐美会員、阿部勇二郎会員、佐藤龍会員、渡部嘉夫会員津山様、高樹様ようこそお越し下さいました。霜鳥正隆会員森絹子会長

歌楽しみにしております。

②メイクアップ 川口南RC竹ノ谷光美様  
 久しぶりに参加させていただきます。例会を楽しませ頂きます。川口南RC竹ノ谷光美様  
 竹ノ谷さんようこそ。北村透会員  
 こんにち竹ノ谷さん、ようこそおいで下さいました。北村さんいつもお土産ありがとうございます。本庄久子会員

竹ノ谷さんようこそ。芝崎眞理会員、田中徳兵衛会員  
 ③入会式  
 重田さん、ロータリーを楽しんで下さい。森絹子会長  
 重田さん、川口ロータリーへようこそ。田中徳兵衛会員、北村透会員

④会員誕生祝

本日はお誕生日祝いの有難うございました。皆様方のお陰で素晴らしいロータリーライフを楽しんでおります。これからも宜しくお願ひ致します。丸山恵美子会員  
 誕生祝いの有難うございました。網谷徹己会員  
 45歳です。多田竜一会員

⑤その他

丸山さん、川口市長表彰おめでとございます。これからも活躍でありますように。木内賢治会員  
 北村さんサツマイモありがとうございました。わか食堂さんに届けてきました。喜んで頂きました。市産品フェアで所長に会いウクライナ募金を頂きました。佐藤進会員  
 市産品フェアご協力ありがとうございました。ウクライナ募金22万、ポリオ募金11万集まりました。各クラブの会長とともに届けてまいります。砂沢学賦会員  
 11月とは思えない毎日です。怪我をして心は暗いです。皆様も気をつけて下さい。朝日恵子会員  
 今日のニコニコくじは北村さんから北村ファーム秋の収穫祭です。野菜と桑の実ジャムのセットです。お楽しみ

本日の行事

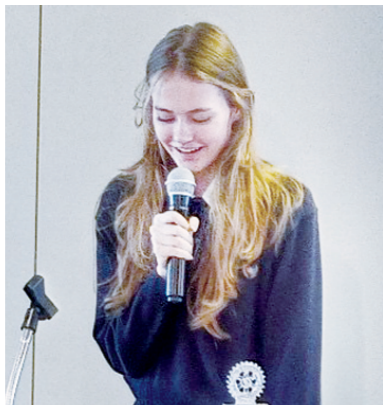
●会員誕生祝



網谷徹己会員、森絹子会長、丸山恵美子会員、多田竜一会員

お小遣い支給

青少年交換留学生のJUNIさんへ、おこづかいを支給しました。



入会式

重田 佳美  
 しげた よしみ

事業所：野村證券(株) 川口支店  
 住 所：川口市栄町 3-10-1  
 役職名：支店長



卓話：艶歌歌手 津山洋子様・高樹一郎様

津山洋子

昭和 21 年 2 月 9 日生まれ  
 福島県石川郡出身

高樹一郎

昭和 16 年 6 月 1 日生まれ  
 宮城県桃生郡(現・石巻市)出身



1963(昭和 38)年 高樹一郎…伊達仙太郎の芸名で東芝レコードより「佐渡の嫁っこ」でデビュー  
 1964(昭和 39)年 津山洋子…東芝レコードより「海峡の宿」でデビュー  
 1967(昭和 42)年 津山洋子・大木英夫とのコンビで、ミノルフォンレコード(現:徳間ジャパン)より「新宿そだち」を発売。高樹一郎とコンビ結成し、のちに 160万枚のミリオンヒット  
 1968(昭和 43)年 津山洋子…「雨の新宿」発売。  
 映画「新宿育ち」公開(脚本:成澤昌茂/監督:長谷和夫/配給:松竹)  
 1969(昭和 44)年 高樹一郎…ミノルフォンレコードに移籍、芸名を高樹一郎に改名  
 1970(昭和 45)年 シングル「嘘とほんと」で正式にコンビ結成  
 1971(昭和 46)年 結婚、仲人は故・徳間康快氏(徳間ジャパン初代社長)  
 1979(昭和 54)年「新宿夜明けまで」でコロムビアレコードに移籍  
 1980(昭和 55)年「新宿ふたりづれ」発売  
 1983(昭和 58)年「夫婦みち」発売、30 万枚のヒット  
 1987(昭和 62)年「男と女のラブゲーム」発売、レコード会社 12 社競作と CM ソングで話題  
 1989(平成元)年 800 回以上のチャリティー・ボランティアの功績が認められ、社会文化功労賞受賞  
 1991(平成 3)年「夫婦駒」発売直後、津山洋子が末期がんに倒れ、芸能活動休止  
 1997(平成 9)年「東京盛り場物語」で芸能界復帰  
 2001(平成 13)年「人生ふたりづれ」でガウスエンタテインメントに移籍。新宿コマ劇場にて公演  
 2003(平成 15)年 高樹一郎…芸能生活 40 周年  
 2004(平成 16)年 津山洋子…芸能生活 40 周年  
 2007(平成 19)年 コンビ結成 40 周年記念曲「さくら通りの花見唄」発売

10月19日例会卓話 大石雅寛会員

私は、昭和43年8月15日、静岡県静岡市で、町工場を営む両親の二男として誕生しました。兄弟は、6歳上の兄がおります。両親は、履物の製造過程の一部を担う加工業者で、幼少期から大学卒業までの間、なにに不自由することなく生活することができ、そのような環境で産み育ててくれたことに最大の感謝をしています。自由放任で育ててくれ、私がやりたいと言ったことは大抵のことはさせてくれました。幼少のころは、近くに住んでいた父方の祖母に面倒を見てもらっていました。祖父母は、若い頃、僧侶と尼僧だったと聞いています。よくお寺に連れて行かれ、巻物で頭を撫でてもらったこと、祖母が大きな太鼓を叩いていたこと、帰りに今川焼を食べたことが記憶に残っています。妙にお線香の匂いがする幼少期でしたが、私を可愛がってくれた祖母にも心から感謝しています。



学校生活では、多くの先生にお世話になりましたが、高校の恩師お二人のことをお話しいたします。一人は、高校1年生の時の担任、河合正直先生で、国語の先生でした。司法試験を勉強していくために必要な最低限の国語力は河合先生に着けていただいたように思います。もう一人は、井上慶三郎先生、政治経済ご担当の先生でした。中央大学法学部出身の先生で、法律家を志望する大きなきっかけになりました。中央大学法学部に進学しましたが、これは井上先生の推薦によるものです。  
 昭和62年4月、恩師の期待を背に中央大学法学部に入学し、司法試験合格に向けて大学2年生の4月から司法試験受験予備校に顔を出すようにはなりませんが、予備校の授業は苦痛でたまらず、何も頭に残らない状態が続きました。大学4年生は就職活動してもよかったのかもしれませんが浪人し、法学の勉強を初歩からやり直すことを決断しました。浪人を決めてからは後戻りが利かないと自覚し、身を入れて勉強をするようになり、レベルの高い人たちがどのような勉強をしているのかを知ることができました。テキストの基になっている学術書や、学者の論文などを直接読んで、自分の頭で考えた方が理解が早く深くなり、友人と意見交換することで理解をさらに深くし、頭に定着させることができました。どうか20代のうちに司法試験に合格することができたのは、共に切磋琢磨してくれる、優秀で、仲間思いの友人に恵まれたからだと思えます。

司法試験に合格し、司法修習の期間は2年間ありました。まじめに取り組んでみますと、出来が悪くても教官に可愛がっていただき、刑事裁判教官だった川上拓一判事に目をかけていただきました。弁護士としての最初の就職先までご紹介いただきました。就職先は、渡部喬一法律事務所としまして、渡部喬一先生は、ホテルニュージャパニオン事件で、遺族側弁護団長をされたり、NHKの番組に出演されたり、早稲田大学が抱える幾つかの訴訟の弁護団を組織して大学に協力していました。その弁護団の団長は、早稲田出身の法律家の中でも、大変高名な、元東京高等裁判所総括判事で、退官後、弁護士登録されていた石丸俊彦先生でした。大事な事件の大学側主張書面を起草させていただき、提出書面まで完成させていくことを繰り返すことで、弁護士として仕事をしていくための基礎を作っていました。早稲田の弁護団には、もう一人とても重要な人物がいました。宮下啓子先生という弁護士です。宮下先生は私の仕事ぶりを気に入って下さり、共同で受任して仕事をさせていただくようになりました。現在、私は、ほとんど相続法の専門家として仕事をしておりますが、私がもっている相続関係の事件処理に関するノウハウのほとんどは、宮下先生から教えていただいたものばかりです。その後、平成23年に宮下・大石法律事務所を設立しました。今は私が事務所の代表となり、宮下先生の長男、そして、宮下先生が育てた職員たちと共に、楽しく仕事をしています。日々、宮下先生に感謝しながら仕事をしています。宮下先生は、大学時代体育会のスケート部に所属し、社会人になってからはフィギュアスケート競技の運営に関与した関係で、平成17年に、日本スケート連盟が弁護士と顧問契約をすることになった際、私を推薦していただきました。当時のフィギュアスケート界は、人気盛り上がりしていた時期で華やかな印象でしたが、連盟の元会長を中心とした金銭不祥事が発覚し、存亡の危機を迎えてしまいました。連盟を正常化するために弁護士を役員にする必要があり、通算15年間、日本スケート連盟の理事として、法務面から主として事務局業務をサポートしつつ、国際競技会に派遣する代表選手の選考などに関与したり、全国の加盟団体の方からコンプライアンス通報窓口に通報があった問題の解決をしたりと多くの問題を解決することができ多くの経験を積むことができました。

今回、自分の経歴を振り返ったときに、感謝しなければならぬ方が本当に多くいることに気が付きました。川口ロータリークラブに入会する切っ掛けを下された、中央大学の早船先輩、網谷先輩のお二人、そして、迎え入れてくださった皆様にも感謝を申し上げたいと思います。この感謝の気持ちを、これから出会う方々への奉仕という形でお返しできればと考えております。宜しくお願いいたします。